

海外のオープンサイエンスの潮流を踏まえ、国内では第6期科学技術・イノベーション基本計画において、新たな研究システムとして「オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進」が示されました。

これにより、国内では研究者がICTの活用により、オープン・アンド・クローズ戦略の下で、学術論文等の研究成果の共有と公開を進め、研究の加速化や新たな知識の創造などを促すことが目指されています。

その流れの中、科研費では、令和7年度公募の採択者には「即時オープンアクセス(OA)化」、研究データの管理などが義務付けられます。

このような研究者を取り巻くオープンサイエンスへの理解を深めるため、研究データの管理や公開をめぐるルールを整理し、大学等における研究データの先進的な管理・活用事例を紹介します。

2025 3.18 [火]

会場 &  
オンライン  
での

ハイブリッド開催

時間 13:15-15:45

場所 三重大学地域イノベーションホール  
(地域イノベーション研究開発拠点C棟・3階)

## Guest Speaker

### [ 基調講演 ]

オープンサイエンス・研究データ管理から見る研究支援  
名古屋大学情報連携推進本部 情報戦略室 室長 教授

青木 学聡氏

### [ 事例報告 ]

研究データの管理と公開：人文学の視点から  
東京大学史料編纂所 助教

中村 覚氏

オープンサイエンス時代の大学図書館の新たな役割：  
研究支援のための図書館DX

横浜国立大学研究推進機構 特任教員(助教)・URA

松浦 かなな氏

セミナーお申し込みはこちらから

オンラインでの参加をご希望される方には、  
当日までに参加URLをご連絡いたします。



『文部科学省「オープンアクセス加速化事業  
(令和5年度補正予算：人工知能等社会実装研究拠点事業補助金)』

お問い合わせ

国立大学法人三重大学 研究推進チーム

✉ ken-sokatu@ab.mie-u.ac.jp

三重大学 オープンサイエンス推進シンポジウム

# 学術データの管理と共有、未来への課題

— 科研費等の動向を踏まえて —

会場参加 定員 80名(先着順)

入場無料